



生駒市立鹿ノ台小学校

鹿小だより



鹿ノ台小学校

令和 8 年 3 月 24 日

第 24 号



3月18日、第47回卒業証書授与式を挙行し、88名の卒業生が本校を巣立って行きました。体調不良等による欠席者は一人もなく、全員に卒業証書を手渡すことができたことが何よりの喜びでした。今年の卒業生は、新型コロナウイルス感染症の影響により臨時休業や分散登校となった2020年に入学した学年です。式辞では、修学旅行の夜に仲間と語り合い学び合う真剣な姿を見て、コロナ禍では叶えられなかった「共に学ぶ」姿が確かに育



っていることをうれしく感じたこと、そして、相手の立場に思いを馳せ、違いを尊重し、言葉を交わしながら、新しい答えを共につくっていく力を今後も大切にしてほしいと伝えました。

最後の旅立ちの言葉と送る言葉、そしてそれぞれの合唱の音が体育館に響き合い、心に残る卒業式となりました。主役の6年生はもちろん、「後を引き継いで/力を合わせてがんばります」と呼びかけた5年生のがんばりで、とても素晴らしい卒業式にすることができました。これまで学校を引っ張ってきた6年生から5年生へ、次のバトンが引き継がれたように感じました。

写真のタイトルは、式場の体育館入口側の2階フェンスに掲示された言葉。在校生から6年生に伝えたい言葉として代表委員会で話し合っ

6年奉仕作業



卒業式の1週間ほど前に、6年生が奉仕作業をしてくれました。日頃の清掃活動では手が回らない校庭の溝にたまった土をスコップで取り除いてくれました。運動場北側の溝と体育館南側の溝、東門付近のスロープ横の溝の3か所です。クラスごとに3日間で作業し、きれいな溝が復活。力を合わせて頑張る6年生、ありがとうございました。

修了式と離任式

今日で3学期最後の登校日を迎え、令和7年度の修了式を行いました。修了証を各学年の代表児童に手渡した後、来年度に向けて、次の3つの「宿題」を伝えました。

- ① 始業式には元気よく笑顔で挨拶して登校すること
- ② 春休み中に新年度のめあてを考えてみること
- ③ この1年間でお世話になった人たちに感謝の気持ちを伝えること



修了式に引き続き、離任式を行い、退職・転職する教職員に一言ずつ挨拶をしてもらいました。児童から花束を贈り、感謝の気持ちを伝えました。今回本校を退職または転出する教職員は、今のところ次のとおりです。

| | |
|------------|--------|
| 事務職員さん(転出) | 先生(退職) |
| 先生(退職) | 先生(退職) |
| 先生(転出) | 先生(転出) |

なお、先生と先生はお休み中のため、離任式には出席されませんでした。長年、特別支援教育支援員としてお勤めいただいた先生も今年度をもって本校での勤務を終えられます。

長い間、見守っていただきありがとうございました

正門で横断旗を手に、毎朝子どもたちの登校を見守っていただいたさんが、今年度で、見守りの活動を引退されます。今年卒寿を迎えられるとのこと。「今年で卒寿」とおっしゃったときは、耳を疑いました。「あちこち、がたがたやあ」とおっしゃるお姿を拝見している限り、とてもそんなふうには見えません。72歳でお仕事を退職されて以来18年間、ほぼ毎朝、立ち続けてくださいました。落ち葉のあるときは、気付けば竹ぼうきで掃いて集めておられました。登校する高校生や社会人の中には、小学生でさんから見守ってもらった人もいようで、挨拶を交わす姿をしばしば目にしました。



「子どもたちからたくさんの思い出や元気を頂きました。今日あるのは子どもたちのお陰です。感謝の念でいっぱいです」と、さん。長きにわたり、ご尽力いただき本当にありがとうございました。

今年度も、多くの方々に支えられ、見守られ、お力添えをいただきました。春は別れの季節といわれますが、つながりやかかわりが深いほど、その別れは心にそっと重く響きます。

最後になりましたが、保護者の皆様、地域の皆様には本校教育活動に温かいご理解とご協力、ご支援を賜り、心より感謝申し上げます。行事へのご参加や見守り活動、日々の子供たちへの励ましなど数え切れないほどのお力添えをいただきました。ありがとうございました。次年度も教職員一同、子どもたちの健やかな成長のため全力で取り組んでまいります。引き続き、ご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。